

ち
ちほうぶんか
地方文化の

でんとうまも
伝統守る

ざまかぶき
座間歌舞伎

ち



ざまかぶき
座間歌舞伎

座間歌舞伎は、江戸時代後期に村の青年たちが、仕事のあいまや農閑期に練習をして演じたのが始まりです。以来、明治、大正時代を経て、今日に至っております。昭和四十六年には、歌舞伎芸者の入谷歌舞伎会と浄瑠璃芸者の寿会が合同して座間歌舞伎会を組織し、市の無形文化財に指定されました。

現在、この保存会の人たちにより毎年上演されるとともに、後継者の育成と古典芸能の保存がはかられています。

ち